

施設修繕仕様書

1. 修繕名 市川市動植物園ミニ鉄広場放飼場設置修繕
2. 契約期間 令和8年5月15日から令和8年9月11日まで
3. 修繕場所 市川市大町284番地1
4. 概要 本修繕はミニ鉄広場にフェンスを設置して、アルパカ等が動き回れる放飼場を整備するもの。
5. 修繕の内容

名称	規格	単位	数量	備考
メッシュフェンス	H=900	m	88	
メッシュフェンス (斜)	H=900	m	10	
片開き門扉	H=900、W=1200	基	2	
法面張芝	野芝、100%張り	m ²	16	
芝生養生マット	ゴム製、t=13	m ²	16	
低木移植	H=500	株	55	

6. 実施方法

○メッシュフェンス

ア) メッシュフェンスはAR-A 900-MS 同等品以上とし、設置箇所については必ず監督職員に確認すること。

イ) 高さ、通りに注意しながら床掘を行い、床付け面については入念に締め固めを行うこと。

ウ) 所定の寸法になるように砕石 (RC-40) を敷き均し、入念に締め固めること。

エ) 高さ、通りに注意しながら基礎ブロック (□180×450) の据付を行い、ブロック周りを入念に締め固めること。

オ) 高さ、通りに注意しながら建柱を行うこと。

カ) 柱の固定はモルタルにて行い、水勾配を必ず設けること。なお、空モルタルは使用せず、必ず練ったモルタルを用いること。

キ) モルタル硬化後にパネルを柱に取り付けること。

ク) フェンスの色はダークブラウンとすること。

ケ) 発生土については、フェンス内に敷き均すこと。

○片開き門扉

ア) 片開き門扉についてはAR-A H900×W1200 以上とし、設置箇所については必ず監督

職員に確認すること。

- イ) 高さ、通りに注意しながら床掘を行い、床付け面については入念に締め固めを行うこと。
- ウ) 所定の寸法になるように砕石 (RC-40) を敷き均し、入念に締め固めること。
- エ) 高さ、通りに注意しながら基礎ブロック (□300×500) の据付を行い、ブロック周りを入念に締め固めること。
- オ) 高さ、通りに注意しながら建柱を行うこと。
- カ) 柱の固定はモルタルにて行い、水勾配を必ず設けること。なお、空モルタルは使用せず、必ず練ったモルタルを用いること。
- キ) モルタル硬化後に門扉を柱に取り付けること。
- ク) 門扉の色はダークブラウンとすること。
- ケ) 門扉は内開きとすること。
- コ) 発生土については、フェンス内に敷き均すこと。

○法面張芝

- ア) 芝生の種類は野芝とする。
- イ) 張芝面を深さ 15~20 cm掘り起こして耕耘を行い、ゴロ土やごみを取り除くこと。
- ウ) 耕耘後、沈下防止のためローラーや足等で軽く転圧を行い、周囲の高さに合うよう不陸整正を行った後、芝の張り付けを行うこと。
- エ) 縦目地が揃わないように注意しながらべた張り (100%) を行い、ローラー等を用いて仕上げ転圧を行うこと。なお、転圧後に目串 (3~4 か所/枚) を打って張芝がずれないようにし、芝生の活着に努めること。
- オ) 目土厚さは 2 cmを基準とし、3 cmを超えないように注意しながら均一に散布すること。
- カ) 目土材は植物の根茎、ガレキ等不純物が無い畑土とし、必要に応じてふるい分けをしたものを使用すること。
- キ) 修繕期間内は適宜灌水を行って、張芝の活着に努めること。
- ク) 引き渡し後 1年以内に芝生が枯死した場合は、受注者の負担で再張芝を行うこと。また、再張芝の時期については発注者と協議を行って決定すること。なお、枯死の原因が明らかに発注者側にある場合は、再張芝を行わないものとする。

○芝生養生マット

- ア) 芝生養生マット (ゴム製、t=13mm) を張芝面全体に覆いかぶせること。なお、端部、フェンス基礎周りについてはカッター、ハサミ等にて切断し、周囲の施設との収まりを良くすること。
- イ) マットがずれないようにU字型ピン (ステンレス製、40×175 mm、径 3 mm) を打ち込んで固定すること。

○低木移植

- ア) 契約後速やかに掘り取りを行い、梅雨明けまでに移植を行うこと。
- イ) 掘り取りに際し、できるだけ大きく根鉢径、根鉢高さを取ること。
- ウ) 移植先は連絡橋反対側の植込み地 (運搬距離約 10m) とし、木の向き (裏表) に

注意して植付を行うこと。

エ) 修繕期間内は適宜灌水を行って、低木の活着に努めること。

オ) 検査終了後から1年以内に主たる幹、葉張りの1/3以上が枯れた場合は、請負者の責において速やかに移植木の伐採、抜根を行うこと。また、撤去時期については発注者と協議し、動植物園休園日に行うこと。なお、枯死の原因が明らかに発注者側にある場合は、移植木の伐採、撤去は行わないものとする。

7. その他

- (1) オランウータンは希少種で繊細な動物である。本修繕はオランウータン舎近くの作業ため、作業日時は平日の10時から16時30分までとし、土日祝日の作業は行わないこと。また、大きな音を出さないようにすること。
- (2) 作業現場への出入りに使用する踏切の幅が約2m程度と狭いため、通行時は踏切施設に接触しないよう注意すること。
- (3) 作業開始までは管理棟裏の駐車場にて待機し、オランウータン担当飼育員の確認を得た後に作業現場に進入すること。
- (4) 作業終了後必ず16時30分までに、作業現場から管理棟裏に車両を移動させること。
- (5) 大町公園及び動物園内の車両移動時はハザードランプを点滅させて最徐行にて走行し、第三者への事故が起きないように努めること
- (6) 作業箇所動物園利用者が入らないよう、バリケード等を設置すること
- (7) 修繕完了後、速やかに完成届並びに工事写真等の成果品を提出し、市川市の検査を受けること。
- (8) 本仕様書に定める事項および記載のない事項について疑義が生じた場合については、監督職員と協議して決定するものとする。